

- 「水災害対策とまちづくりの連携のあり方」検討会のとりまとめに向けて、自治体の過去の被災状況や防災に向けた取組状況、水災害対策とまちづくりの連携に向けた課題等について、下記11自治体について、ヒアリング（書面）を実施
- ヒアリング実施期間 書面：5月19日（火）～5月29日（金）

主に検討中の災害	自治体名	状況	ヒアリング内容
津波	静岡県伊豆市	・平成30年3月、全国初の津波災害特別警戒区域を指定。区域指定のマイナスイメージをプラスに大転換する愛称を設定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災まちづくりの考え方・方向性</li> <li>・被災想定を踏まえたまちづくりにおける防災に向けた取組状況と課題</li> <li>・防災・減災対策を進めるうえでの関係部局等との連携・情報共有の状況</li> <li>・まちづくり部局と治水・防災部局の双方に期待することなど</li> </ul>
津波	神奈川県藤沢市	・H29年3月立地適正化計画作成済み。津波浸水想定区域内は、原則、居住誘導区域には含まず、市が独自で設定する防災対策先導区域として位置付け	
洪水	福島県須賀川市	・R1年6月立地適正化計画作成済み。 ・令和元年台風19号の豪雨により、居住誘導区域内において浸水被害（人的被害あり）が発生。	
洪水	福島県郡山市	・H31年3月立地適正化計画（全体版）作成済み。（都市機能誘導区域はH29年3月作成） ・令和元年台風19号の豪雨により、居住誘導区域内において浸水被害が発生。	
洪水	滋賀県	・H26年3月滋賀県流域治水の推進に関する条例制定。 （予見リスクによる災害危険区域の指定、住宅の高上げや避難場所整備等への支援等）	
洪水	京都府舞鶴市	・H18年3月災害危険区域を指定。宅地高上げ助成金制度を創設し、浸水被害の軽減に努めている。	
洪水	岡山県倉敷市	・H30年7月豪雨により、真備地区（市街化区域含む）において甚大な浸水被害が発生。	
洪水	熊本県熊本市	・H28年4月立地適正化計画作成済み。 ・中心市街地の大部分が浸水想定区域に含まれている。	
洪水	宮崎県延岡市	・輪中堤、宅地かさ上げ等によるハード整備と土地利用規制等によるソフト対策を組み合わせた水防災事業により早期に治水安全度を向上	
土砂	広島県呉市	・H30年7月豪雨により、拠点となる地域において土砂被害が発生。	
内水	福岡県久留米市	・H30年7月豪雨や令和元年7月、8月の大雨で市内に度々内水被害が発生。	